



# Weekly Report

2012～  
2013年度

会長 安藤 亨  
幹事 中島 健児  
会報 中村 和広



作者の言葉  
我々の百合丘ロータリークラブのシンボルである百合の花は、地味に白く、優雅な花言葉は「多幸、上品、純潔」である。これを見れば、我々のクラブが目指しているのは、平和な世界の実現である。そして、そのために我々が努力している。そして、我々が努力している。そして、我々が努力している。大友 大友

平成25年1月22日(火) 第1658回例会

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ  
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

## 第1658回例会記録 平成25年1月22日(火) 26/47回

<点鐘> 安藤亨会長

<ソング> 我等の生業

<会長報告> 安藤亨会長

1. 地区より、ロータリー財団未来の夢計画開始にあたり、2013～14年度クラブの参加資格検定覚書(MOU)提出依頼の件  
内容確認の上、2013～14年度会長・2014～15年度会長が署名の上、郵送またはFAXにてガバナー事務局に送付
2. 2012年度期間終了米山奨学生の修了式・歓送会開催の件  
会長・米山奨学委員長・カウンセラー・担当指導教官出席依頼。2/24(日)キャメロットジャパン
3. 川崎中RC40周年記念式典記念誌を頂きました。
4. 川崎市長より、ミューザ川崎リニューアルオープン式典のご案内がきております。
5. 2013～14年度クラブ役員キットが参りました。次年度幹事をお願いいたします。
6. 川崎多摩RCより、米山奨学生 禹有珍さんに卓話の依頼がきております。  
本人も承諾しております。
7. 麻生防犯協会一泊研修会の実施についてのご案内参加費：17,000円 碓井会員お願いします。

<幹事報告> 中島健児幹事

\*その他 タウンニュース  
第9回・10回アルテリオ寄席のご招待

<ニコニコ委員会> 嶋委員

安藤亨会長→「木庭会員、卓話よろしくお願ひします」。中島健児幹事→「木庭さん、卓話よろしくお願ひします」。木庭会員→「今日は卓話の機会をいただき、ありがとうございます。精一杯がんばります」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤志子会員、井上久会員、井上勇会員、嶋志田会員、鶴丸会員、小塚会員、中島眞一会員、中村会員、野島会員、大矢会員、白井会員、鈴木会員、高田会員、玉井会員、碓井会員、渡邊会員、山口会員、吉田会員、結城会員、古澤会員、阿久澤会員、嶋会員。

<出席委員会> 玉井委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1658回	39*	32	7		82.05%
第1657回	39*	31	8	4	89.74%

\*出席免除会員1

<米山奨学委員会> 粕川委員長

嶋会員→「家内の誕生祝い、お花ありがとうございます」。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	25件	25,000円	652件	718,000円
財団	0件	0円	24件	252,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	160,000円
米山	1件	10,000円	20件	260,000円

- 第1660回 2月5日 クラブフォーラム
- 第1661回 2月13日 IM
- 第1662回 2月19日 会員卓話 赤本会員 菅会員

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

## 本日のプログラム

### <会員卓話>

木庭会員

私は若輩者ですし皆様のようにまだいろいろなことを経験しているわけではありませんが、今日は、なかなか面白い人生を歩んできたと思っている私の半生についてお話させていただきます。

昭和43年3月8日に4,010グラムと、とても大きく生まれました。母のお腹にいるときに余りに大きかったので双子と診断され、妊娠8ヶ月の時にレントゲンを撮ったというエピソードがあります。その後はすくすくと健康優良児として元気に育ち、5歳まで弘法の松の隣の社宅で過ごし、以後は多摩美の住民です。地元の幼稚園・小学校に進学し、跡見学園女子短期大学では文科国文を専攻しました。卒論のテーマで研究した井原西鶴の「本朝二十不孝」がゼミ代表として校内の本に掲載されたことが、小さなことですが私の自慢です。

大学卒業後、川鉄商事(現在のJFE商事)鉄鋼部門の薄板部門事務に配属されました。しかし、数字より文章を書くのが好きだったため、人事考課に希望を書き続け、当時女子社員初の希望による人事異動が叶い、広報部に配属されました。広報部では、社内報作成の他にモータースポーツチームを作り参戦等、仕事に追われるバブル期の会社生活を満喫しました。ところが急性膵炎を発症してしまい、仕事よりも人生を大事にしようと考え、寿退社しました。周りはとても驚いていました。大阪出身の夫とは職場結婚ですが、勤務地が離れていたので一緒に働いたことはありません。結婚を気に専業主婦になり夫の転勤に伴い7年間に4都市(大阪→金沢八景→船橋→川崎)に在住することになりました。大阪にいた時には阪神淡路大震災にあい、生後4ヶ月の長男を抱え、子供を育てることの覚悟と不安を思い知った経験になりました。結婚するまで麻生区近辺から出ることがなかった私が、子育てをしながら様々な自治体に住むという経験は、自治体の規模・方針によって生活しやすいか否か、市民の立場で比較・体験でき、今の仕事に活かされていると思っています。その後、長女を授かり幼稚園入園したのを機に、ヘルパー2級の資格を取得しました。そのきっかけは、祖母が倒れた時に子育て真っ最中だった私は何もしてあげられなかったという後悔からでした。

訪問介護ヘルパーとして実際に働いてみて、介護を受けるということは現実的にお金がかかるという事や、仕事内容に制約がとても多く、自分の描いていた「役に立ちたい」という思いを実現させるのが難しいということを感じました。父の体調不良を機に立ち上げた会社で広報誌を作成している中、笠

さんへ教育への思いや、介護現場の実情等訴えていたことが、きっかけとなり市議会議員に挑戦するチャンスをいただき現在に至っています。今では自信を持って取り組んでいますが、未知な政治の世界に飛び込めたのは、笠さんから「市議会には、市民の生活を一生懸命してきた、本当の市民の声を知っている存在が必要だ」という言葉でした。

ゆとり教育の導入前から終焉まで学校教育の現場を保護者の立場で見えてきましたが、学校の安全神話の崩壊や学童保育問題等これからも取り組む課題はたくさんあります。

小学5年生の時にいじめにあい、自殺をしようとして思いました。覚悟を決めていじめグループと喧嘩し、いじめは終わりました。驚くことに、大人になって加害者と話をしてみると、本人達は全く覚えていないのです。この経験から「いじめている側は深い意識を持っていないこと・死ぬ勇気があればどんなことでもできること」をいじめられている人に伝えたいと思います。教育委員会の方は「いじめをされている子はサインを出している為、それに気づくことが重要だ」といいますが、私の経験を話し「与えるばかりでなく、子ども達自身に考える教育も取り入れてほしい」と訴えています。小学校1年生の時にはPTSDで不眠症になったりと、普通の人以上にバラエティに富んだ人生を経験していると思います。それらは様々な立場の方の思いを共有できる貴重な経験であると思います。

介護の仕事を選択した時の「人の役に立ちたい」という気持ちは今も変わらず市議会議員という仕事を果たすことで、更に多くの立場の方のお役に立てることが私の今の喜びです。ロータリーの奉仕の精神は、まさに私の信念と合致しています。積極的に活動をしていきたいと思っています。ロータリアンとして社会の役に立つことをお誓いし私の卓話とさせていただきます。

